

## 令和元年度 全国学力状況調査 英語科分析

### 1 正答率が高かった問題

#### 情報の聞き取りと聞き取りからの理解

##### (1) 推測される要因・原因

- ・ 小学校から英語活動に取り組んでおり、聞くことに慣れていた。

##### (2) 今後必要だと思われる対策

- ・ 一問一答形式の対話から、ある程度会話を続ける活動を増やす。
- ・ 話したことを書き留めて、正しい文法が使えるかを確認する。

#### 正確な読み取り

##### (1) 推測される要因・原因

- ・ 平素の取組により、基本的な語は読め、理解できていた。
- ・ 普段の授業で、ある程度のまとまりのある文章を読んだり、書いたりする練習をしていた。

##### (2) 今後必要だと思われる対策

- ・ 第一印象だけで解答しないで、大切なところを注意して読んでいく。
- ・ プロセスを含む問題に取り組ませていく。

#### 月日に関する基本的な表現・応答

##### (1) 推測される要因・原因

- ・ 曜日や日付、天気を毎時間繰り返し、確認している成果が出た。

##### (2) 今後必要だと思われる対策

- ・ クラスルームイングリッシュを習慣化し、粘り強く参加させていく。

### 2 正答率が低かった問題

#### 語と語の連結による音変化の聞き取り

##### (1) 推測される要因・原因

- ・ 難度は低い問題である。集中して解答する準備ができていなかった。

##### (2) 効果があるのではないかとと思われる対策

- ・ 繰り返さないで、聞くときの集中力を高める習慣づけをする。
- ・ 問題の説明文を音読させるなどして、問題の形式に戸惑わないようにする。

#### 一般動詞の時制と人称変化の書き取り

##### (1) 推測される要因・原因

- ・ 状況のとらえ方が大まかで丁寧に読まなかった。
- ・ 文脈を確認せず、空欄に続く語だけを見ていた。

##### (2) 効果があるのではないかとと思われる対策

- ・ ある程度まとまりのある文章を、状況を理解しながら丁寧に読む練習をする。
- ・ 選択肢の中から選ぶ形式で練習させることで、文脈の理解につながる練習を継続して行う。

#### 与えられた情報からの3人称単数時制の作文

##### (1) 推測される要因・原因

- ・ 問題文が抽象的でよく理解できなかった。
- ・ 1年生の時の既習事項であるため、忘れていた。
- ・ 出題形式が文章表記ではなく、表形式になっており、問題の趣旨を正しく理解できなかった。

(2) 効果があるのではないと思われる対策

- ・ 1,2年生の学習内容や動詞の変化について、繰り返しスパイラル的に復習していく。
- ・ 自己表現の作文を書くことから他者や社会について作文する機会を増やす。
- ・ 多様な形式の問題を取り入れて練習させる。
- ・ 表やグラフ、メモ書きから情報を読み取って、表現できる力をつけさせる。

**テーマをまとめ・整理をして話すこと**

(1) 推測される要因・原因

- ・ 自分のことを表現する事象ではなく、ある程度の分量をひとりで話したり、書いたり、読んだりしながら、英語で物事を考える形式であったため、その形式に慣れていなかった。

(2) 効果があるのではないと思われる対策

- ・ 4~5文程度は何も見なくても話せるような力をつけていく。